

2019年度 第8回 夏のつどい部会 議事録

2019年11月10日(日)

場 所 : 青少年センター・研修室

司 会 : 谷 口 参加人数: 30名

回収物: なし

配布物: 第8回レジュメ・第7回議事録・アンケートデータ

1・あいさつ

高橋部長

2・議題・報告・協議事項

- ① 第36回の開催に向けた、夏のつどい部役員人事について
現状では特定の人員に対して、過度に部会の運営上の仕事が集中してしまっている。
20期第1回目となるオーバーナイトハイクの開催を通して、各部員がオーバーナイトハイクに対する基礎的な知識を習得出来た為、再度役員人事の検討を行い、各人の負担を減らしつつも専門分野においては深く掘り下げる体制に変える事で、効率と質を高めて行きたい。

夏のつどい部 役員体制

現体制: 部長 × 1名・副部長 × 2名・書記 × 1名・会計 × 1名 計5名

新体制: 部長 × 1名・副部長 × 4名・書記 × 1名・会計 × 1名 計7名

役員及び担当分野

- ・部長(留任・富勢中学区)
高橋 裕馬 → 夏のつどい部責任者
- ・統括副部長(留任・豊四季中学区)
谷口 聖 → 全体統括 兼 バイク隊隊長
- ・副部長(留任・柏三中学区)
福原 郁
- ・副部長(新任・柏の葉中学区)
田中 正平 → 本部時間管理 兼 アンケート等データ解析
- ・副部長(新任・風早中学区)
綾部 正太郎 → 同行統括責任者 兼 学術担当
- ・書記(留任・大津ヶ丘中学区)
佐藤 周子 → 書記 兼 ゆめ基金担当 兼 会計補佐
- ・会計(留任・柏四中学区)
加藤 愛 → 会計 兼 ゆめ基金補佐

② 相談員アンケートの集計結果について（提出者数：81 名）

- 当日の突然の雨天に、隊列を戻すなどの迅速が対応出来てよかった
- 休憩所でのスタート時間の待ち時間が長い
→ どの様な形で時短出来るかを来年の部会にて協議
- 休憩所でのストレッチ及びマッサージのサポート体制を考えて欲しい
→ 来年は有資格者(看護師)を休憩所に派遣する案を検討する
- 富勢のローソン交差点の渡し方を、より安全に出来ないか
→ 高架を降りる歩道の位置を来年の下見で検証し、安全性を検証する

③ 私学及び東葛中学校への ONH 募集活動について

※ ONH の応募者数推移

2016 年→716 名 2017 年→636 名 2018 年→636 名(リベンジ枠含む)
2019 年→515 名 年々減少傾向へ・・・



参加者数を増やす試みとして、私学及び東葛中への募集活動を行ってみては？

★ 柏市内の私学

東葛中・二松学舎中・芝浦工大付属柏中・麗澤中（計 4 校）

※ 私学生徒が ONH へ参加希望する際の現状の手順

『広報かしわ』を見て生涯学習課へ自分自身で応募

→ 実際はほぼ認知されておらず、例年私学生徒の参加は 2 名程度のみ



通常の学区の様に、ポスター掲示や参加申込書を全生徒に配布してみては？

◎ メリット

参加者が増える可能性 + ONH への認知度も上昇する + より多くの生徒に楽しい体験を！

× デメリット

私学近隣学区の協力もしくは私学担当者を設ける必要があり、特定の人に負担増！

ONH 当日、自学区以外の私学分のフォロー体制など、緻密に作り込まなければならない学区として相談員活動へ参画がない私学に対し、自学区の生徒を差し置いて対応すべき？

夏つどで検討した結果・・・

来年に関しては自学区に注力をする事で、参加者一人一人に手厚く ONH を体験させたい。

また PR 活動を今一度考察し、21 学区内で参加者が増える仕組みを再検討する。

上記を鑑みて私学への積極的なアプローチは、今後の検討課題として来年以降に持ち越す。

3・連絡確認事項

・直近の活動予定

わんぱくこども祭り 11 月 24 日（日） 9：00～16：00 @青少年センター

第 9 回部会&夏つど新年会 1 月 18 日（土） 15：00～ @未定